

相談支援班からのおたよりです



令和4年5月2日発行

支援連携グループ相談支援班

新年度がスタートして1か月ほどが過ぎました。コロナ禍の影響で、まだまだ制限されることが多くありますが、生徒たちは今できる最大限の活動に意欲的に取り組んでいます。

相談支援班の仕事を紹介します。

相談支援班では、生徒や保護者の皆さんの様々な困り感に寄り添い、一緒に解決策を探っていきます。まずは話を伺い、必要な外部機関を紹介したり、つないだりしていきます。児童相談所や障害福祉課は居住地によって担当のケースワーカーが決まっていますので、直接担当者との連絡を取り合い、必要な支援を考えていきます。また、他の特別支援学校の専門職にアドバイスをいただくための手続きをします。

校外では、地域の中学校や高校の相談に応じています。特別支援学校のノウハウをお伝えし、その後の支援に役立てていただくことが目的です。このことを「センター的機能」と言います。

さらに横須賀・三浦・逗子・葉山の3市1町で主催される支援会議や小・中学校の支援級担当者会議などに出席し、地域の課題や障害児・者支援に関する情報の共有を行っています。

こんな相談がありました。

- つまづいたり転んだりしやすい⇒ハイカットの靴に変えてみる。
- 授業中の姿勢の悪さが気になる⇒防災頭巾を座布団代わりにしているため滑りやすく、姿勢が安定しない。防災頭巾の場所を変える。
- うまく食べられない。食べこぼしをする⇒箸のサイズを手の大きさに合わせる。つまみやすい箸を使う。
- 書くことが苦手⇒筆圧が高い場合はシャーペンでなく、フェルトペンやサインペン、濃い鉛筆を使う。選択肢や見本を用意する。
- 細かい作業が苦手⇒その子にあった道具を選ぶ。使いやすいように道具を改良する。

ここに挙げたケースは日常よく目にする光景です。躓きとなっていることの中には、案外簡単に解決することもあります。いつもと違う人がいつもと違う視点で観察してみることが大切です。



ちょこっとコラム～専門職のこと～

専門職には4つの職種があります。

- ◆理学療法士 (PT)……姿勢、動作などの身体に関する支援や車いすの作成や適合状態の助言をします。
- ◆言語聴覚士 (ST)……摂食、ことば、コミュニケーションなどの問題についてのアドバイスをします。
- ◆心理職 (CP)……心理、社会面、学習面、健康面、キャリア形成など、子どもの成長に関わる専門家です。授業観察やフォーマルなアセスメントなどを通し、アドバイスをします。
- ◆作業療法士 (OT)……学習機の調整など、学校生活の過ごしやすさ改善のための支援をします。高橋OTは地域の学校への巡回相談も行っています。

※まずは担任まで、お気軽にご相談ください。